**SIMA・地籍フォーマット2000・法務省地図XML⇒GIS.xlsm  
　マニュアル　Ver.3.84**

2024/9/２3

↓最新版のダウンロード

<https://www.vector.co.jp/soft/winnt/business/se523305.html>

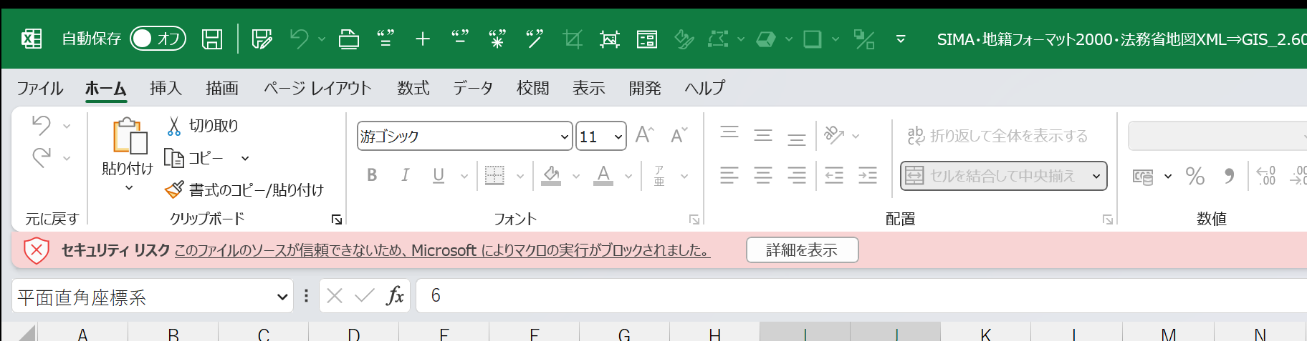
# ●マクロの有効化について

　インターネットから入手したVBAマクロブックは既定でブロックされています。  
　本ツールについてもマクロが含まれていますので、ダウンロードしたファイルを開くと下図のように表示され、マクロを利用できない状態になります。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル, Excel

自動的に生成された説明

このボタンを押してもマクロが有効にならない

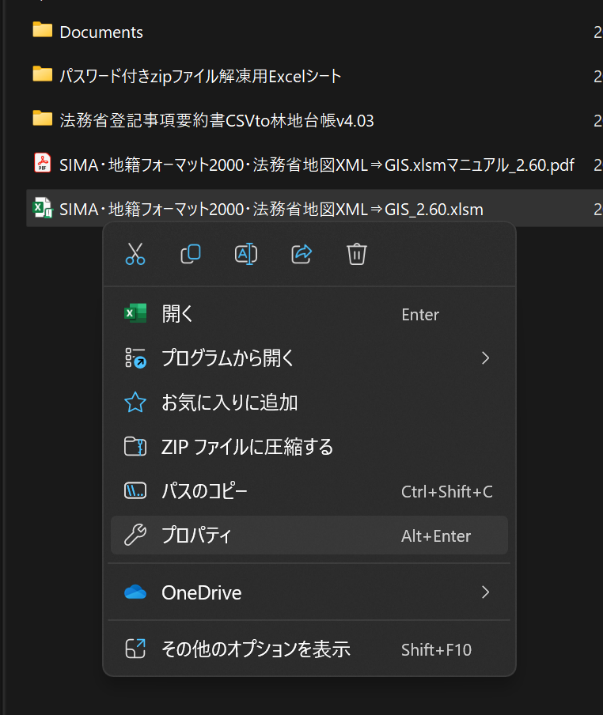


そこで、マクロを有効化するために、ダウンロードしたExcelファイルを下図のとおり設定してください。

1. 右クリック ⇒ ② プロパティ ⇒ ③ セキュリティ「許可する」にチェック ⇒ ④ OK

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション, メール

自動的に生成された説明



1. 右クリック

② プロパティ

③ 許可する

④ OK

# ●「信頼できる場所」について

　セキュリティレベルの設定によっては「信頼できる場所」以外でVBAマクロを有効にすることができません。その場合はデスクトップやドキュメントに保存してから開いてください。

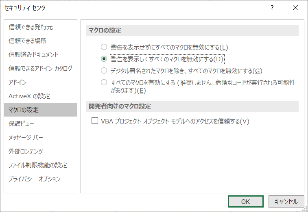
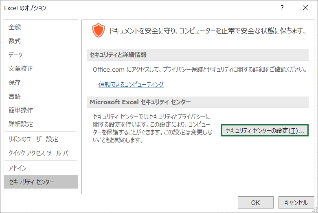
# ●マクロの設定について

　本ツールはVBAマクロを使用していますので下記のとおり設定して使用してください。

**３．セキュリティ センターの設定**

**２．セキュリティ センター**

　・マクロの設定



**デフォルトでこの設定に**

**なっている場合があります**

**４．マクロの設定**

**１．ファイル ⇒ オプション**

**５．警告を表示してすべてのマクロを無効にする**

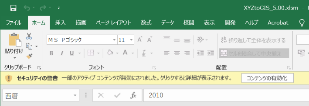
**「編集を有効にする」をクリック**

　・保護ビュー



**「コンテンツの有効化」をクリック**

　・セキュリティの警告



**これらの表示は環境によって**

**出ない場合があります**

# ●画面構成

**（2）SIMA変換（複数同時変換可）**

**（1）基本設定**

**（5）法務省地図XML変換（複数同時変換可）**

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル

自動的に生成された説明

**（3）地籍フォーマット2000変換（複数同時変換可）**

**（4）SIMA/地籍フォーマット2000 追加項目**

**（6）法務省登記事項要約書CSVto林地台帳v4.04**

# 基本設定

1

2

テーブル

自動的に生成された説明

3

1. 平面直角座標系

SIMAデータには平面直角座標系の情報が含まれていないため、GISデータに変換する場合は平面直角座標系を指定する必要があります。  
　SIMAデータの作成された位置に合わせた平面直角座標系（1～19）を指定してください。座標系が分からない場合は「2．平面直角座標系マップ」を参照してください。

1. 平面直角座標系マップ

このセルをクリックすると日本全国の平面直角座標系マップを開くことができます。

1. 出力GPX

GPXファイルを出力する際のデータ形式を「ﾙｰﾄ/ﾎﾟﾘｺﾞﾝ」「ﾄﾗｯｸ/ﾊﾟｽ」「目印」の三種類から選択します。  
　基本的に「ﾙｰﾄ/ﾎﾟﾘｺﾞﾝ」を選んでおけば良いのですが、GARMINのGPS上で表示させるためには、「ﾄﾗｯｸ/ﾊﾟｽ」で出力したGPXをGPS本体に保存し、GPSのメニュー「軌跡管理」から当該データを選択し、「地図上に表示」をオンにしてください。（GPSによってメニュー内容は異なります）

* + 本ツールでは、ファイル出力の際に同名のファイルがすでに存在する場合、強制的に上書きされるのでご注意ください。

# SIMA変換（複数選択可）

　SIMAフォーマットは「座標データ」「画地データ」などを収めたCSV形式のデータです。（[SIMAフォーマット解説](https://web.archive.org/web/20010210031129/http:/homepage1.nifty.com/caba/sima/flame.htm)）  
　本メニューでは複数のSIMAデータを選択すればすべてのファイルに対して変換処理を行います。（細かくバラバラにデータを出してくる市町村があるため複数処理に対応しました。）  
　変換後のファイルはSIMAデータと同一のフォルダに保存されます。  
　SIMA変換は [（1）－1 平面直角座標系](#_座標系)選択 を正しく設定してから実行してください。

テーブル

自動的に生成された説明

1

2

3

4

5

6

1. SIMA ⇒ シェープファイル

SIMAデータをシェープファイルに変換します。（複数選択可）

この機能は処理に時間が掛かる場合があります。（特にポイントデータ）

1. SIMA ⇒ GPXファイル

SIMAデータをGPXファイルに変換します。（複数選択可）

1. SIMA ⇒ KMLファイル

SIMAデータをKMLファイルに変換します。（複数選択可）

1. SIMA ⇒ GeoJSONファイル

SIMAデータをGeoJSONファイルに変換します。（複数選択可）

1. 座標出力(ﾎﾟｲﾝﾄﾃﾞｰﾀ)

座標データを変換する場合はチェックを入れてください。

1. 画地出力(ﾎﾟﾘｺﾞﾝ/ﾗｲﾝﾃﾞｰﾀ)

画地データを変換する場合はチェックを入れてください。

* SIMAから変換される属性データは以下のとおりです。  
  都道府県名や市町村名などの追加項目を付与したい場合は[（4）SIMA／地籍フォーマット2000　追加項目](#_SIMA／地籍フォーマット2000_追加項目) で追加を行ってください。





# 地籍フォーマット2000変換（複数同時変換可）

地籍フォーマット2000は「地区別情報(hed)」「地図番号情報(map)」「筆界点情報(pnt)」「仮行政界情報(lin)」「図根点(tcp)」「筆・長挟物図形情報(pol)」「筆属性情報(atr)」などのCSV形式データが一つのフォルダに格納されているので、変換を行う場合はその「フォルダ」を選択してください。

選択したフォルダ内に地籍フォーマット２０００データを収めた複数のフォルダがある場合、すべてのフォルダに対して変換処理を行います。（細かくバラバラにデータを出してくる市町村があるため複数処理に対応しました。）

変換後のファイルは地籍フォーマット２０００と同一のフォルダに保存されます。

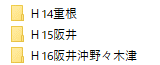
平面直角座標系については「地区別情報(hed)」データから取得して、自動で設定を行います。

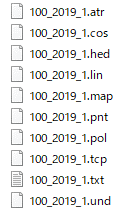
「PSEA 公共測量成果検査支援ツール」では出力されない属性データもすべて出力するようにしています。

　　　　●地籍フォーマット2000のファイル構成

　　　フォルダごとに　「atr」「cos」「hed」…などのファイルが1セットになって

構成されています。





テキスト

低い精度で自動的に生成された説明

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

### 地籍フォーマット2000　⇒　シェープファイル

地籍フォーマット2000のデータをシェープファイルに変換します。

ポイントタイプのシェープファイルは出力に時間が掛かる場合があります。

### 地籍フォーマット2000　⇒　GPXファイル

地籍フォーマット2000のデータをGPXファイルに変換します。

### 地籍フォーマット2000　⇒　KMLファイル

地籍フォーマット2000のデータをKMLファイルに変換します。

### 地籍フォーマット2000　⇒　GeoJSONファイル

地籍フォーマット2000のデータをGeoJSONファイルに変換します。

### 地籍フォーマット2000　⇒　SIMAファイル

地籍フォーマット2000のデータをSIMAファイルに変換します。  
オプションの設定に関わらず筆界点、図根点、筆・長狭物図形を出力します。

### 筆界点出力（ポイントデータ）

「筆界点情報(pnt)」を変換する場合はチェックを入れてください。

### 図根点出力（ポイントデータ）

「図根点情報(tcp)」を変換する場合はチェックを入れてください。

### 筆・長挟物図形出力（ポリゴンデータ）

「筆・長挟物図形情報(pol)」を変換する場合はチェックを入れてください。

### 仮行政界線出力（ラインデータ）

「仮行政界情報(lin)」を変換する場合はチェックを入れてください。

### 地図番号出力（ポリゴンデータ）

「地図番号情報(map)」を変換する場合はチェックを入れてください。

* 地籍フォーマット2000から変換される属性データは以下のとおりです。  
  都道府県名や市町村名などの追加項目を付与したい場合は（4）SIMA／地籍フォーマット2000　追加項目 で追加を行ってください。































# SIMA／地籍フォーマット2000　追加フィールド

SIMA／地籍フォーマット2000標準の項目だけでは不十分な場合にフィールドと値を追加することができます。

1

2

3

4

5

テーブル

自動的に生成された説明

### オン／オフ

その行のフィールドと値を追加する場合は「○」、追加しない場合は「×」を選んでください。

### 項目名

任意のフィールド名を指定してください（シェープファイルの場合は全角で5文字までの制限があります）

### データタイプ

「数値」または「テキスト」を選択してください。

### フィールドサイズ、桁数

フィールドサイズと桁数を半角カンマ区切りで入力してください。  
「10.21」のような数値データの場合「4,2」という指定になります。  
テキストデータの場合は桁数0を指定してください。

### 値

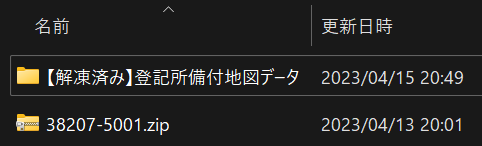
任意の値を指定してください。デフォルトでは都道府県及び和歌山県の市町村名リストが設定してあります。リストの内容を変更したい場合は「その他設定」シートのセルF2以降を編集してください。

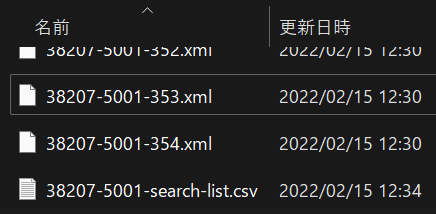
# 法務省地図XML変換（複数同時変換可）

法務省地図XMLとは、法務省の地図情報システム（登記所に備え付けられている地図及び地図に準ずる図面等を電子情報として管理し，コンピュータシステムによる事務の処理を可能とするシステム）で取り扱われている地図及び地図に準ずる図面のデータ形式です。（[法務省地図XMLフォーマット解説](http://www.moj.go.jp/content/000116464.pdf)）  
　県および市町村は森林法（昭和26年法律第249号）第191条の２第２項に基づき、法務局から法務省地図XMLデータの提供を受けることが可能であり、大量のXMLを処理する必要から本ツールを作成しました。　  
　法務省地図XMLデータは、地理座標を持つ公共座標XMLと地理座標を持たない任意座標XMLの２種類で構成されており、本ツールでは市町村別・公共/任意座標別に（複数のXMLであっても）一つにまとめてシェープファイルを出力します。  
　なお、2023年1月23日より法務省の登記所備付地図データがG空間情報センターのサイトからダウンロードできるようになりました。  
　ダウンロード手順の詳細については下記を参考にしてください。  
<https://front.geospatial.jp/moj-chizu-xml-download/>  
　また、下記Youtube「法務省登記所備付地図データの使い方」（G空間情報センター）は本ツールの使い方の参考になります。  
[https://www.youtube.com/watch?v=BdoyukTaafA&t=1s](https://www.youtube.com/watch?v=BdoyukTaafA&t=1s" \o "法務省登記所備付地図データの使い方（15分30秒）)

　　●法務省地図XMLのファイル構成

G空間情報センターからダウンロードしたzipファイルを本ツールの「登記所備付地図データzip解凍」で解凍した場合、「【解凍済み】登記所備付地図データ」フォルダ内に複数の「xml」ファイルとzipファイルリストを記載した「csv」ファイルが保存されます。





グラフィカル ユーザー インターフェイス が含まれている画像

自動的に生成された説明

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

1. 登記所備付地図データ zip解凍

G空間情報センターからダウンロードした登記所備付地図データを解凍します。  
zipファイルの中のzipファイルもすべて解凍します。

1. 法務省地図XMLファイル ⇒ シェープファイル

法務省地図XMLファイルをシェープファイルに変換します。（複数同時変換可）

法務省地図XMLファイルが保存されたフォルダを指定してください。（配下のフォルダもすべて変換処理します。）

最初に選択したフォルダの中に「法務省地図XML変換」という名前のフォルダを作成し、その中にシェープファイルを出力します。

1. 法務省地図XML ⇒ GeoJSONファイル

法務省地図XMLファイルをGeoJSONファイルに変換します。（複数同時変換可）。

1. 法務省地図XML ⇒ KMLファイル

法務省地図XMLファイルをKMLファイルに変換します。（複数同時変換可）。

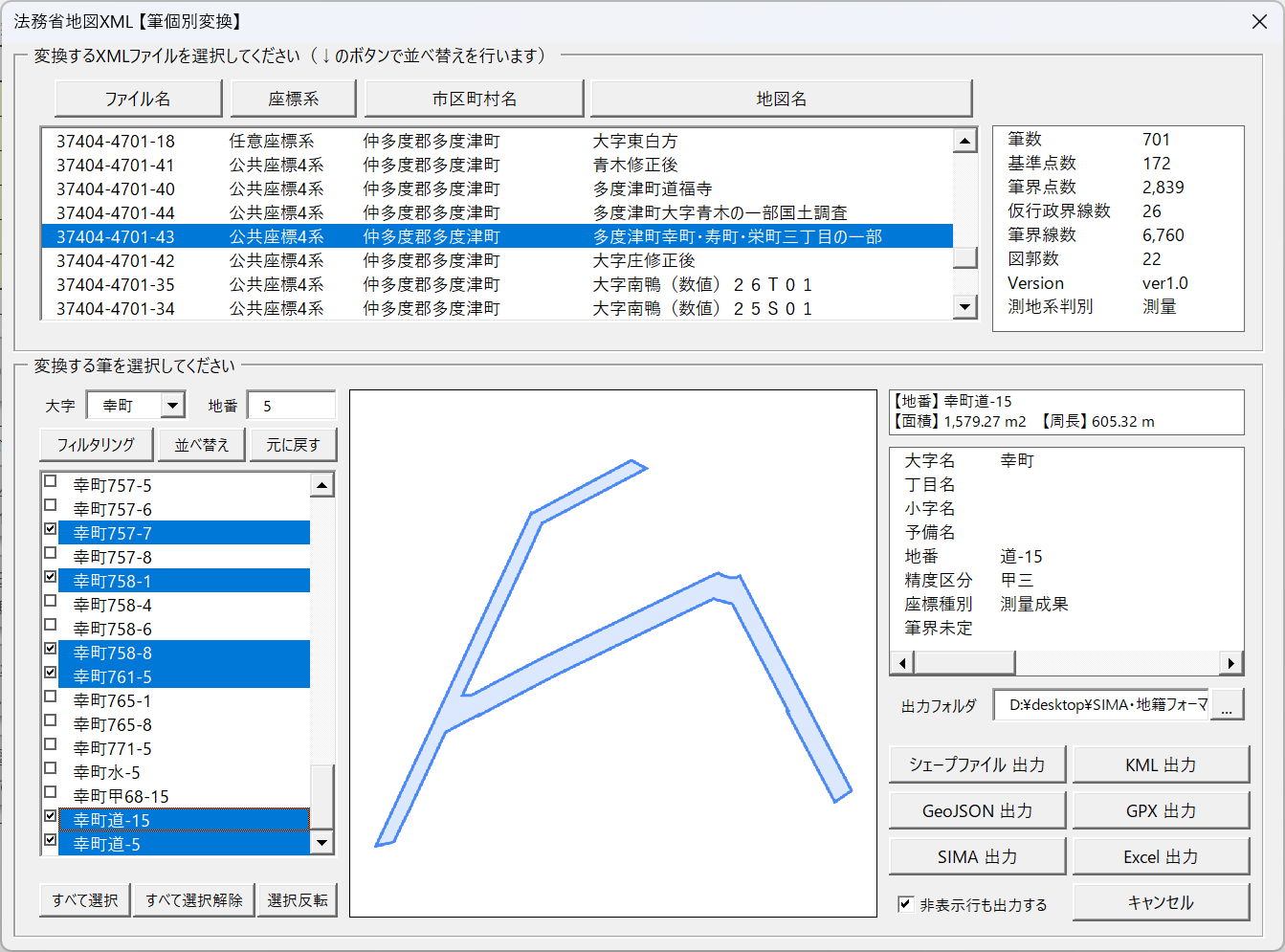
1. 法務省地図XML ⇒ GPXファイル

法務省地図XMLファイルをGPXファイルに変換します。（複数同時変換可）。

1. 法務省地図XML ⇒ SIMAファイル

法務省地図XMLファイルをSIMAファイルに変換します。（複数同時変換可）。オプションの設定に関わらず基準点、筆界点、筆界線、筆を出力します。

1. 法務省地図XML 【筆個別変換】

法務省地図XMLファイルに含まれる「筆」データを個別に選択してシェープ・GeoJSON・SIMA・KML・GPX・Excel表に変換します。オプションの設定に関わらず筆を出力します。（SIMAは筆界点も出力）

フィルタで非表示の行の出力設定

変換するXMLファイルを選択

選択した筆を各種ファイルに出力するボタン

筆フィルタリング等

出力する筆を選択

XMLファイル情報

選択状態の変更ボタン

面積等表示ラベル

筆情報

並べ替えボタン

筆形状プレビュー

1. 基準点出力(ﾎﾟｲﾝﾄﾃﾞｰﾀ)

基準点を出力する場合はチェックを入れてください。

1. 筆界点出力(ﾎﾟｲﾝﾄﾃﾞｰﾀ)

筆界点を出力する場合はチェックを入れてください。

1. 仮行政界線出力(ﾗｲﾝﾃﾞｰﾀ)

仮行政界線を出力する場合はチェックを入れてください。

1. 筆界線出力(ﾗｲﾝﾃﾞｰﾀ)

筆界線を出力する場合はチェックを入れてください。

1. 筆出力(ﾎﾟﾘｺﾞﾝﾃﾞｰﾀ)

筆を出力する場合はチェックを入れてください。

1. 地区外ポリゴンを出力しない

筆ポリゴンの周囲を取り囲む地区外ポリゴンを出力しない場合はチェックを入れてください。

1. 面積フィールドを追加する

面積フィールドを追加します。

1. 周長フィールドを追加する

周長フィールドを追加します。

1. XML名フィールドを追加する

XML名フィールドを追加します。

1. 登記事項要約書CSV結合用IDを追加する

登記事項要約書ＣＳＶと紐づけるためのＩＤを追加します。

1. 結合用IDに「小字名」を含める

登記事項要約書ＣＳＶ結合用IDに「小字名」を含めます。地域によっては小字名まで含めないと登記事項要約書ＣＳＶとの結合ができない場合があります。

1. 図郭出力(ﾎﾟﾘｺﾞﾝﾃﾞｰﾀ)

図郭を出力する場合はチェックを入れてください。

1. 地図名でファイルを分ける（任意座標系）

任意座標系の場合に、地図名ごとにファイルを分けて出力します。（シェープファイル以外はこのチェックに関わらずすべて地図名でファイルを分けて出力します。）

1. 地図名でファイルを分ける（平面直角座標系）

平面直角座標系の場合に、地図名ごとにファイルを分けて出力します。（シェープファイル以外はこのチェックに関わらずすべて地図名でファイルを分けて出力します。）

1. 変換するファイルを選択する

グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明地図名や座標系などの情報をXMLファイルのヘッダから取得し、変換するXMLファイルを選択することができるフォームを表示します。

並べ替えボタン

変換設定（上記8～22）

変換するファイルを選択

■ 「筆界未定地」オプションについて  
・「その他設定」シートの「筆界未定地」オプションを切り替えることで筆界未定地内包地番の表記を切り替えます。  
　「○外□筆」の場合　：　筆界未定地-2514【2514-1 外2筆】  
　「□、□、…」の場合　：　筆界未定地-2514【2514-1,2514-2,2514-3】  
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　SIMAの場合は「,」を「\_」に置換します。  
　【　】でくくる　：　筆界未定地名称を表示し、内包地番を【　】でくくって表示します。

選択状態の変更ボタン

出力フォルダ選択ボタン

* 法務省地図XMLから変換される属性データは以下のとおりです。















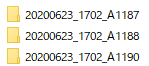




# 法務省登記事項要約書CSV to林地台帳v4.04

法務省登記事項要約書CSVとは、不動産の登記情報（土地の所在、地目、所有者、共有者など）をCSV形式で記録したものです。（[参考にしたページ](http://www.surveyor.qcweb.jp/toukicsv/toukicsv.htm)）  
　県および市町村は法務省地図XMLデータと同様に、森林法に基づいて法務省登記事項要約書CSVデータの提供を受けることが可能です。  
　本ツールは以下のことを目的として作成しました。（Access及びExcelで同じ処理が可能です）  
①大量のCSVファイルをAccess形式のデータベースファイル(accdb)にまとめて保存  
②林野庁提供の林地台帳ツール「ForestLand.exe」に取り込める形でエクセル出力（このツールはあまり使われていないようですが…）  
③外字自動置換及び手動置換機能の実装  
④シェープファイルに変換した法務省地図XMLデータと紐付けするためのCSV及びCSVTファイルを出力  
⑤データ検索と検索結果のExcel出力  
  
　　　●法務省登記事項要約書のファイル構成

フォルダごとに　「法務省登記事項要約書CSV」及び「外字イメージbmp」ファイルがセットになって構成されています。





●「法務省登記事項要約書CSV to林地台帳v4.04.accdb」



6

1

2

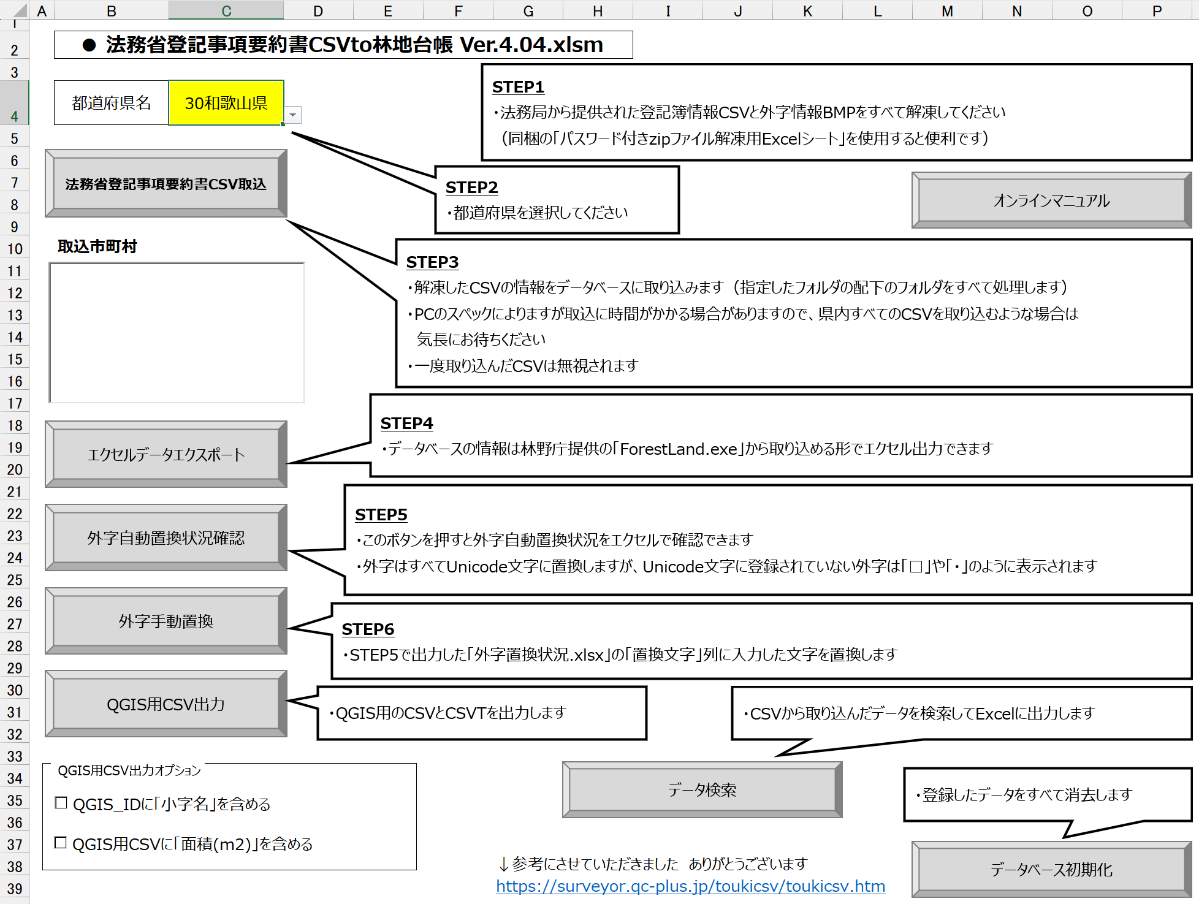
3

4

5

7

●「法務省登記事項要約書CSV to林地台帳v4.04.xlsm」



1

4

2

3

5

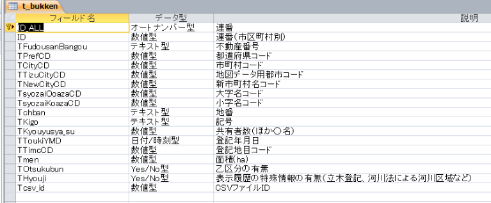
6

7

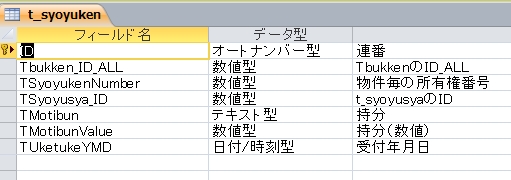
1. 法務省登記事項要約書CSV取込

登記事項要約書CSVデータを「法務省登記事項要約書CSV to林地台帳v4.02.accdb」内の各テーブルに取り込みます。　「都道府県」を選択してから「法務省登記事項要約書CSV取込」ボタンを押して、CSVの入ったフォルダを選択してください。選択したフォルダ内に複数のフォルダが存在する場合、配下のすべてのフォルダについてデータ取り込みを行います。

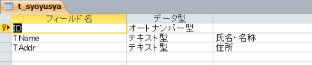
●「t\_bukken」テーブル（物件情報）



●「t\_syoyuken」テーブル（所有権情報）



●「t\_syoyusya」テーブル（所有者情報）



●「t\_gaiji」テーブル（外字情報）



1. Excelデータエクスポート

林野庁提供の林地台帳ツール「ForestLand.exe」に取り込める形でエクセル出力を行います。

●地番関連情報





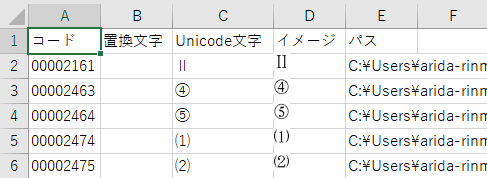
●共有者情報



1. 外字置換状況確認

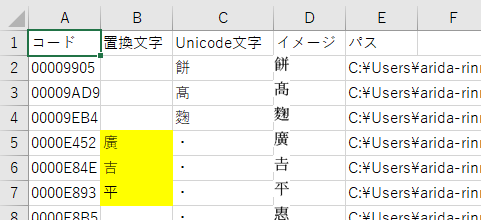
法務省登記事項要約書CSVでは（おそらく）Shift-JISで登録されている文字以外はすべて外字として取り扱っており、それら不足分の外字はBMPファイルとして同じフォルダに保存されています。  
　このBMPファイルのファイル名はUnicode文字の文字コードと（一部）対応しているので、本ツールではCSV取り込みの際にBMPのファイル名をUnicode文字に変換してデータベース登録しています。  
　「外字自動置換状況確認」を押すと、下図のようなエクセルシートが出力されます。  
　このシートでは置換したUnicode文字とBMPイメージの比較が可能です。（Unicode文字が存在しない外字は「・」や「□」のように表示されます）

●外字置換状況.xlsx



1. 外字手動置換

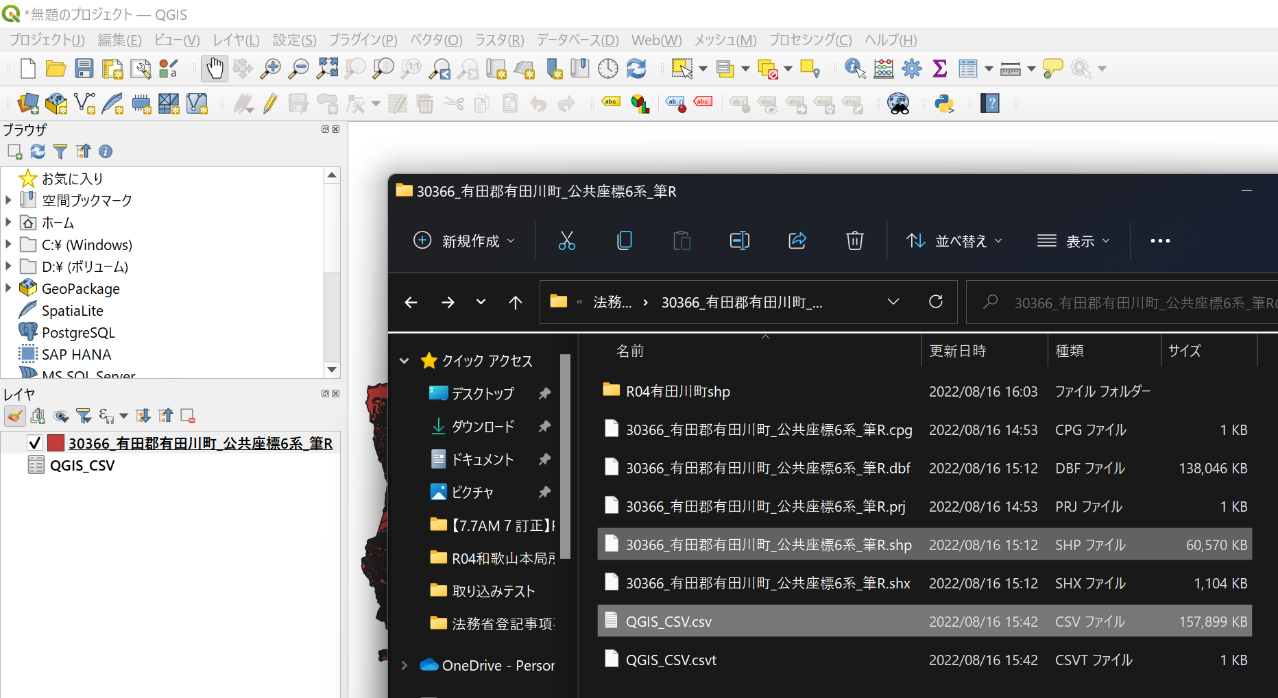
3．で出力した「外字置換状況.xlsx」の「置換文字」列に入力した文字を置換します。下図の黄色着色部のように代替文字を入力して保存したファイルを指定してください。



1. QGIS用CSV出力

法務省地図XMLを変換したシェープファイルと結合させるためのCSV及びCSVTファイルを出力します。  
・QGIS\_IDに「小字名」を含める：QGIS\_IDに「小字名」含めます。地域によっては  
　　　　小字名まで含めないと地図XMLとの結合ができない場合があります。  
・QGIS用CSVに「面積(m2)」を含める：登記事項要約書CSVに記載されている  
　　　　「面積(m2)」をQGIS用CSVの項目に追加します。

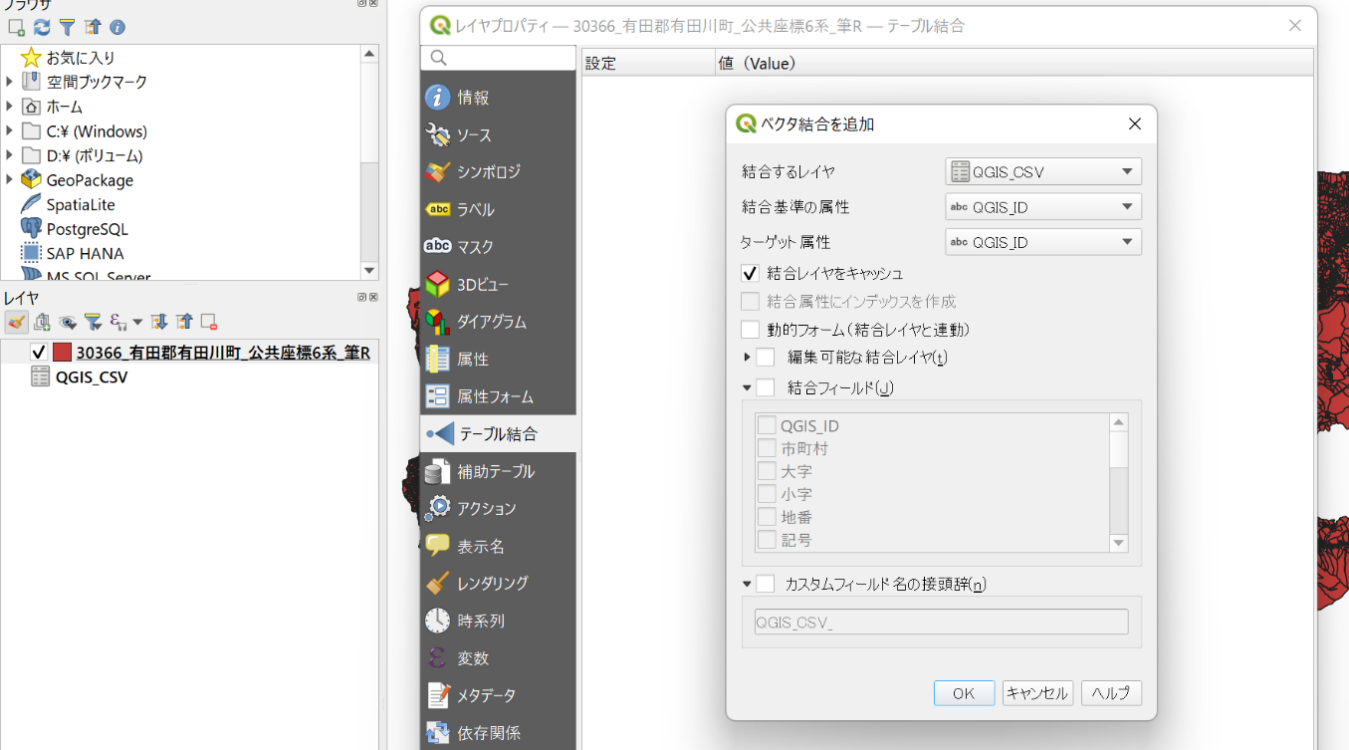
**●QGISのテーブル結合**



1. shpファイルとCSVファイルをドロップ
2. 結合するレイヤ：CSV

結合基準の属性：QGIS\_ID

ターゲット属性：QGIS\_ID



1. ポリゴンを右クリック→プロパティ
2. テーブル結合

⑤ カスタムフィールド名の接頭辞：変更可能

　　⇒ OK

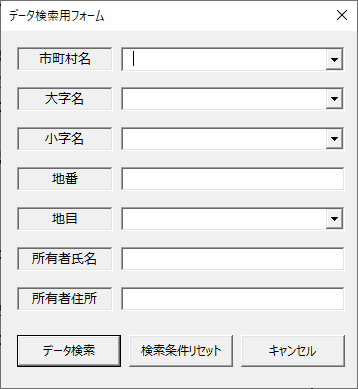
1. データ検索

取り込んだCSVからデータ検索をして、検索結果をExcelに出力できます。

●Access版 検索用フォーム



●Excel版 検索用フォーム



1. データベース初期化

取り込んだデータをすべて消去します。  
Accessの場合は本機能実行後にインデックスをリセットするため、「データベースツール」⇒「データベースの最適化/修復」を行ってください。